

安全・安心を実感できる「いばらき」の確立について

<提案・要望先> 警察庁，総務省，財務省，国土交通省

<提案・要望内容>

本県の治安情勢は，刑法犯認知件数が平成 15 年以降 13 年連続で減少しているほか，人身交通事故発生件数も平成 13 年以降 15 年連続で減少するなど，数値の面では治安の回復傾向が継続しておりますが，ニセ電話詐欺や自動車盗等の県民に身近な犯罪は依然として高い水準で発生しているほか，交通事故死者数が全国ワースト上位にあるなど，いまだ予断を許さない状況にあります。

また，生命に関わる重大事件に発展するおそれのあるストーカー・DV 事案や東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う国際情勢の変化等への的確に対応するためには体制強化が急務であります。

このような厳しい治安情勢の中，本県警察では，全国に比して高い警察官 1 人当たりの業務負担の改善，平成 19 年以降 9 年連続で犯罪率が全国ワースト 1 位である自動車盗への対策，サイバー空間における脅威への対応等が喫緊の課題となっているほか，高齢者の交通事故防止及び通学児童等の安全確保のための交通環境の整備，東日本大震災及び平成 27 年関東・東北豪雨を踏まえた大規模災害対策等にも対処しなければなりません。

以上のことから，県民が安全・安心を実感できる「いばらき」を確立するため，下記事項について特段の御配慮を願います。

記

- 1 警察官の増員（地域部の設置に伴う地方警務官の増員を含む。）や警察車両の増強など警察基盤の強化を図ること。
- 2 自動車ナンバー自動読取装置の増設など捜査基盤の強化を図ること。
- 3 特定交通安全施設等整備事業の推進を図ること。
- 4 科学技術を活用した資機材を含む災害対策用資機材や警察用ヘリコプターの増強など大規模災害対策の強化を図ること。
- 5 サイバー空間の脅威に対する対処能力向上のための人材育成や資機材の整備など総合的なサイバーセキュリティ対策の強化を図ること。